

# 第55回「耳の日」実施報告書

平成22年3月3日

一日耳鼻都道府県地方部会からー

都道府県	無料相談の実施状況	講演会・映画会などの実施状況	報道機関の協力状況
北海道	<p>耳の日記念「耳の無料相談会」を以下の要領で行った。</p> <p>◎相談会の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 耳ときこえについての医療相談</li> <li>2. 聴力測定</li> <li>3. 福祉相談</li> <li>4. 乳幼児・小児きこえの相談</li> <li>5. 補聴器の相談</li> </ol> <p>◎会場</p> <p>釧路（平成22年2月21日（日）） 函館（平成22年2月28日（日）） 旭川（平成22年2月25日（木）） 札幌（平成22年3月3日（水））</p>	なし	北海道新聞を通じて宣伝。 当日は、北海道新聞社が取材に入った。
青森県	<p>無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>「市民健康づくり講座」 日時：平成22年3月4日（木）14:00～ 場所：総合福祉会館（八戸市）</p>	<p>講演会を以下の要領で行った。</p> <p>「市民健康づくり講座」 日時：平成22年3月4日（木）13:30～14:00 場所：総合福祉会館（八戸市） 演題名：「耳の病気について」 講師：袴田 勝</p>	なし
岩手県	<p>耳の日無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年2月28日（日）10:00～13:00 場所：岩手医大循環器センター8階 後援：岩手県・盛岡市・岩手医大・及び各医師会 実施者：医師27名・聴力検査技師5名・看護師3名・補聴器技能士2名・協賛者11名</p> <p>実施内容：受付・問診後、医師が全例診察、必要時聴力検査を施行（気導500・1000・2000・4000Hz 骨導1000・4000Hz）。その上で医師が個別に検査結果などを説明し今後のアドバイスをを行った。場合によって補聴器相談も施行（調整のみ）。また、人工内耳経験者がボランティアで説明・体験談など協力してくださった。個人の結果はコピーして相談者にお渡しした。相談者105名（男性51名・女性54名 5歳～85歳）聴力検査施行例94例</p>	なし	盛岡市及び周辺地域の広報・タウン誌・新聞（岩手日報・盛岡タイムス）などを通じて宣伝。また、岩手県地方部会のホームページ上で前回の様子を写真を交えて掲載し宣伝した。当日はチリ地震の影響で報道機関が津波緊急情報に終始し、残念ながらTVでの取材協力は得られなかった。
宮城県	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成22年3月7日（日）仙台市急患センター・仙台市医師会館2階ホールにて11:30～12:00の間に無料医療相談コーナーを設け、計7名の耳鼻咽喉科医の協力を得て約15名の相談に応じた。</li> <li>2. 平成22年3月3日（水）～3月5日（金）の9:00～21:00、宮城県地方部会のホームページ上で無料医療相談を行い、2名の相談に応じた。</li> </ol>	<p>平成22年3月7日（日）仙台市急患センター・仙台市医師会館2階ホールにて10:00～11:00の間に講演会を行った。今年は広瀬耳鼻咽喉科クリニックの陳志傑先生の司会のもと、東北厚生年金病院耳鼻咽喉科主任部長・栗田口敏一先生による「頭頸部がんはふえているか～喫煙、飲酒との関係について～」、東北厚生年金病院耳鼻咽喉科主任部長・東海林史先生による「花粉症・アレルギー性鼻炎の治療法」と題した講演が行われた。その後、11:00～11:30の間に質疑応答の時間を設けた。聴衆は52名で盛況であった。</p> <p>2. 宮城県地方部会ホームページ上で、耳鼻咽喉科全般にわたる20項目の演題のバーチャル講演会を公開した。</p>	<p>ポスターを仙台市営地下鉄駅（30カ所）、各医療機関（県内の各病院・開業医）、東北大学病院各所、講演内容を要約したチラシを仙台メディアテーク（仙台市立図書館併設）及び各名義後援先（宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県病院薬剤師会、河北新報社、朝日新聞社仙台支局、毎日新聞社仙台支局、読売新聞社東北総局、産経新聞社東北総局、NHK仙台放送局、仙台放送、TBC東北放送、KHB東日本放送、ミヤギテレビ、Date fm、仙台リビング新聞社、朝日ウィル、せんだいタウン情報、ラジオ3、ラジオ石巻、FMいずみ、エフエムいわぬま）などに配布した。また、当日会場で配布するチラシを事前に県内の関連病院と開業医に配布し、待合室などで患者さんに渡した。後援先に報道依頼を事前に行ったため、新聞（朝日新聞・河北新報）、情報誌（河北Weekly・朝日ウィル）からの協力を得て案内を行った。週1回河北新報の朝刊と夕刊に広告を載せ、週1回河北Weeklyなどにも催しの案内をした。</p>

秋田県	右記市民公開講座において実施した。	市民公開講座を以下の要領で行った。 日時：平成22年3月7日（日）14:00～16:00 場 所：アトリオン7Fハーモニープラザ 研修室において開催  1. 「難聴のはなし」 中澤 操 2. 「補聴器のはなし」真崎雅和 3. 「体験者発表」永井慎吾 （県難聴者・中途失聴者協会会長） 4. 無料相談（専門医）20名  人工内耳や補聴器の展示・聴力検査を実施 70名参加 ※手話・要約筆記・磁気ルーフ設置	市民公開講座の実施について、県庁記者クラブのご協力で、新聞各紙に掲載。 秋田市では、広報誌に掲載。
山形県	「耳の日の無料相談」を山形市医師会、身体障がい者更生相談所などの協力ののもと、平成22年3月3日（水）、14:00から16:00まで、山形市霞城公民館において行った。医師2人で相談にあたり、相談者は38人であった。	第55回「耳の日」市民公開講座”難聴と補聴器、人工内耳～聞こえについて～”を、平成22年3月3日（水）14:00から15:30まで、山形市霞城公民館にて行った。約50名ほどの参加者があり質疑応答も多く盛況であった。	山形市の広報、山形コミュニティ新聞、ヨミウリウェイに「耳の日の無料相談、公開講座」についてのお知らせが掲載された。また庄内地区では庄内日報に「耳の日」の記事が掲載された。
福島県	電話・ファックスによる相談室を以下の要領で行った。  日時：平成22年3月3日（水）18:00～20:00 場所：福島市と郡山市の2カ所で行った。 相談件数： 福島 7件（電話 7件） 郡山14件（電話13件、ファックス1件） 内容： 耳鳴・難聴13件、耳痛1件、補聴器3件、手術2件、診断・治療2件	講演会（福島市医師会ほか共催）を以下の要領で行った。  日時：平成22年3月3日（水）13:30～14:30 場所：福島県文化センター小ホール 演題：「高齢者の耳の健康とケアについて」 講師：松井隆道（福島医大） 出席者：約240名	地方紙「福島民報」「福島民友」に耳の日の意見広告を掲載した。（平成22年3月3日付）  【内容】 1. 医療機関の広告（福島民報39医療機関、福島民友31医療機関） 2. 大森地方部会長（福島医大教授）の記事 1) 耳の日とは 2) 急性中耳炎・滲出性中耳炎とは 3) 子供の難聴の早期発見と原因検索については 4) 突発性難聴とは 5) 補聴器・人工内耳とは 3. 「耳の日相談室」 平成22年3月3日（水）18:00～20:00 開設場所：福島、郡山 （電話・ファックスによる相談室の案内）
茨城県	医師および認定補聴器技能者による難聴個別相談会を以下の要領で行った。  日時：平成22年3月7日（日） 場所：水戸市医師会館	市民公開講座を以下の要領で行った。  日時：平成22年3月7日（日） 場所：水戸市医師会館 内容： 1. 「茨城における人工内耳医療の現状」 田淵経司（筑波大学 人間総合科学研究科 耳鼻咽喉科 講師） 2. 「グラハム・ベルと難聴者への支援」 大沼直紀 （東京大学先端科学技術研究センター 客員教授）  後援：水戸市、（財）水戸市医師会、 （財）茨城県メディカルセンター	日耳鼻茨城県地方部会のホームページ上で「遺伝性難聴について」と題して耳疾患についての啓蒙活動を行った。 <a href="http://www.geocities.jp/ibarakijibika/">http://www.geocities.jp/ibarakijibika/</a>
栃木県	平成22年2月28日（日）11:00から16:00まで、東武宇都宮百貨店で実施した。NHO栃木病院、自治医科大学、獨協医科大学から各1名の耳鼻咽喉科専門医が相談医を担当した。相談者総数は58名（男性18名女性40名）で、60～70歳代が64%を占めた。相談内容は難聴が42%と一番多く、次いで耳鳴16%補聴器8%中耳炎4%と、耳の相談が全体の81%を占めた。	なし	下野新聞 平成22年2月20日20面紙上において、「耳の日」の特集記事として加齢性難聴に関する取材記事と無料相談の案内が掲載された。

群馬県	<p>無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月14日(日) 場所：群馬大学医学部附属病院内 刀城会館にて開催</p> <p>内容： 耳鼻咽喉科専門医、補聴器相談医が補聴器・人工内耳やめまい・耳鳴り、難聴の原因と治療などについての相談に応じた。</p> <p>相談者：25名</p>	なし	上毛新聞・朝日新聞・毎日新聞に掲載。当日、上毛新聞の取材を受け、翌日掲載。
埼玉県	なし	<p>市民公開講座を以下の要領で行った。</p> <p>第39回耳の日記念のつどい講演会 日時：平成22年3月7日(日)13:30～16:30 主催：埼玉県、日耳鼻学会埼玉県地方部会・埼玉県耳鼻咽喉科医会 後援：埼玉県医師会、埼玉県言語聴覚士会、埼玉県社会福祉協議会、埼玉県教育委員会</p> <p>内容： 1. 「聴覚障害児教育の現状と課題」 原田公人 (国立特別支援教育研究所総括研究員)</p> <p>2. 「高齢化社会と最近の補聴器医療」 川瀬哲明 (東北大学大学院医工学研究科教授)</p> <p>参加者：60名</p>	<p>1. 東京新聞系列「ショッパー」への投稿・掲載。</p> <p>2. 埼玉県広報誌「埼玉県民だより」への掲載</p>
千葉県	<p>耳の健康に関する無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日(日) 13:00～16:00 場所：東邦大学医療センター佐倉病院 7階講堂</p> <p>実施者：補聴器相談医11名と日本補聴器販売店協会千葉県部会より支援者20名。</p> <p>相談者：48名 実施内容：問診、診察、聴力検査を全例に施行後、希望者に補聴器相談を行った。</p>	<p>市民公開講座を以下の内容で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日(日)10:00～12:00 場所：東邦大学医療センター佐倉病院 7階講堂</p> <p>講師および内容： 1. 「治る難聴・治らない難聴」 鈴木光也 (東邦大学医療センター難聴・めまい回復センター教授)</p> <p>2. 「耳鳴りの治療」 馬場俊吉 (日本医大千葉北総病院耳鼻咽喉科教授)</p> <p>参加者：108名</p>	日 佐倉市広報に記事が掲載され、ケーブルテレビ296で紹介された。また、印旛市郡医師会と八千代市医師会の耳鼻咽喉科施設に耳の日の行事についてのポスターとパンフレットを配布した。 今回の相談会と市民公開講座は印旛市郡医師会と八千代市医師会、千葉市医師会の後援を得て行った。
東京都	<p>本年度は昨年に引き続いて、東邦大学が担当した。今年は新聞の案内に対して、130名の参加申し込みがあり、先着90名を予定した。場所は有楽町駅前のマリオンの11階朝日スクエアで、12:30から東京都内の大学を中心として13施設から相談医が参加し難聴と補聴器の相談を行った。会終了後に参加者からアンケートを回収したが相談会場、日時、補聴器相談の内容などが大変好評であった。</p>	<p>会場にてNHKの「名医に聞く」の高齢者の難聴の番組DVDを、相談の合間に放映し注目を集めた。</p>	朝日新聞厚生事業団が後援し、東京都地方版、神奈川、埼玉、千葉の地方版にも開催予告を掲載。
神奈川県	<p>「難聴と補聴器の相談会」を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日(日)10:00～17:00 場所：神奈川県総合医療会館 (横浜市中区富士見町3-1)</p> <p>内容： 1) 募集のポスターを作成し、県内各医療機関や老人施設、地下鉄駅等に貼付し、また、新聞、タウン誌にも広告を掲載した。 2) 70名の相談者が参加した。耳鼻咽喉科医師が問診、耳の診察を行った。 3) 補聴器技能士が聴力検査や補聴器の試聴、簡単なフィッティングを行った。 4) 耳鼻咽喉科医師と補聴器技能士が連携して、相談者の補聴器の装用経験に基づき、助言を行った。</p> <p>・耳鼻咽喉科医師 10名 参加 ・補聴器技能士 20名 参加 ・補聴器展示 (メーカー4社)</p>	なし	<p>・新聞社3社 (朝日、毎日、神奈川)</p> <p>・タウン紙</p>

新潟県	<p>1. 「耳の日」市民公開講座・無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年2月28日（日） 場所：新潟ユニゾンプラザ 内容：耳鼻咽喉科専門医による無料相談</p> <p>2. 「耳の日」無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日（日） 場所：三条市総合福祉センター 内容：耳鼻咽喉科専門医による無料相談</p> <p>3. 施設訪問を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年2月28日（日） 場所：介護老人保健施設「高田の郷」 内容：耳鼻咽喉科専門医による無料相談</p>	<p>1. 「耳の日」市民公開講座・無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年2月28日（日） 場所：新潟ユニゾンプラザ 内容：耳鼻咽喉科専門医による公開講座 「耳のしくみと中耳炎治療」 「壮年期以降の耳の病気」</p>	<p>1. 「新潟日報」で広告（有料）</p> <p>2. 上越地区の報道機関「上越よみうり」「上越タイムス」にて報道。</p>
富山県	<p>平成22年3月7日（日）に富山県総合福祉会館・サンシップとやまにおいて「耳の日相談会」を実施した。相談会には76名が訪れ、日耳鼻会員（開業医4名＋大学所属医師ら）だけでなく、保健師、看護師、県更生相談所、聾学校教員、言語聴覚士、補聴器専門店、各聴覚障害者団体、手話要約筆記サークル、学生ボランティアなどのスタッフ約70名の参加を得て、盛況のうちに終わった。関連機関との意見交換の場でもあり、年に一度のイベントとして定着してきた。</p>	<p>3月7日相談会後に、「市民公開講座」を実施した。69名の市民参加者を得て、「ここが聞きたい耳鼻科の病気」というタイトルで、耳以外の疾患についてもシンポジウム形式で3題の講演を行った（司会：渡辺行雄、浅井正嗣、安村佐都紀、伏木宏彰 講師：稲葉博司、丸山元祥、渡辺行雄）。</p> <p>その後、質疑応答を受けつけ、熱心な討論があった。</p>	<p>ポスター、新聞、テレビ、ラジオ等、事前PRを行った。例年のイベントとしてメディアなどでも定着してきたこともあり、比較的スムーズに利用できるようになった。事前の新聞やラジオ取材のほか、当日の相談会の内容もテレビや新聞記事などで紹介された。</p> <p>後援：NHK富山放送局、北日本放送、ケーブルテレビ富山、富山テレビ放送、チューリップテレビ、富山エフエム放送、富山シティエフエム、朝日新聞富山総局、北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞北陸支社、高岡ろう学校、富山ろう学校</p>
石川県	<p>無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日（日）10：45～12：00 場所：石川県立音楽堂交流ホール 来場者総人数：41人、うち講演のみ5人、相談希望者は27人。相談医は6人に対応。</p> <p>相談内容： 補聴器所有者は8人で全員が装用しても会話、テレビ、会合、講演が聞き取りにくいとの訴え、うち一人は自分の声が耳に響くとの訴え。</p> <p>補聴器非保持者は全員聞き取りにくさとそこから来る不便さの訴え。</p>	<p>講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日（日）10：00～10：45 場所：石川県立音楽堂交流ホール 内容：1. 認定補聴器技能者による講演「最近の補聴器の話題」 2. 医師による講演「耳の病気と聴力改善手術」</p>	<p>北国新聞への掲載、「耳の日」ポスターの県内各病院・診療所への配布。</p>
福井県	<p>右記公開講座において、難聴の個別相談及び質疑応答を行った。</p>	<p>公開講座を下記の要領で行った。</p> <p>医療公開講座「聞こえのシンポジウム」 日時：平成22年4月25日（日）13：30～16：30 場所：福井県自治会館 内容： 1. 「人工内耳・補聴器について」 山田武千代（福井大学医学部附属病院） 2. 人工内耳の体験発表（2名）、 3. 難聴の個別相談及び質疑応答（16名） 他、耳の日に関する行事を行った。</p> <p>参加者：約60名</p>	<p>なし</p>
山梨県	<p>右記講演の後に相談会を実施した。地方部長と講演者2名と数名の耳鼻咽喉科専門医による講演内容並びに難聴を中心とした耳鼻咽喉科・頭頸部外科の病気、補聴器に関する相談会を行った。補聴器技能者への相談の方も数名おり有意義だった。相談会には20数名程が残られ、さまざまな相談があった。</p>	<p>耳の日フェスタ 耳の日記念講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日（日） 場所：岡島ローヤル会館</p> <p>講演会は、大体90名程の来場者があった。最初の黄先生の講演は、補聴器の多くの種類や「まずは耳鼻科への受診を」と主張された。二番目の今村先生の講演は、聞こえるようになる耳の病気や治らない聞こえの病気もあることをわかりやすく説明し、有意義なものだった。</p>	<p>地元の山梨日々新聞よりの報道要請があり、翌日の山梨日々新聞に耳の日のイベントに関して紹介があった。</p>

長野県	無料相談会を下記3施設で行った。 1. 日時：平成22年3月3日(水) 場所：信州大学医学部附属病院 2. 日時：平成22年3月3日(水) 場所：国立病院機構長野病院 3. 日時：平成22年3月3日(水) 場所：町立辰野病院	なし	耳の日無料相談実施の連絡（長野県記者クラブ）
岐阜県	右記講演会の際に、無料相談会を行った。	「耳の日のつどい」を以下の要領で行った。 日時：平成22年3月7日(日) 場所：じゅうろくプラザ 内容：3講演＋無料相談会 講演 1. 「聞いて得する子どもの急性中耳炎のお話」 柴田康成（しばた耳鼻咽喉科） 2. 「高齢者のめまい・ふらつき～あなたのふらつきは大丈夫？～」 田中雄一（郡上市民病院 耳鼻咽喉科） 3. 「進化する最近の補聴器～より便利に！より快適に！～」 市川和幸（理研産業補聴器センター・認定補聴器技能者）	岐阜新聞、岐阜放送：「耳の日のつどい」の開催案内と報告記事の掲載。
静岡県	なし	市民公開講座を下記の要領で行った。 日時：平成22年3月6日(土) 内容： 1. 「加齢と感覚器障害」 峯田周幸 （浜松医科大学 耳鼻咽喉科教授） 2. 「気を付けよう、乳幼児の中耳炎」 上出洋介 （富士市 かみで耳鼻咽喉科クリニック院長）	静岡新聞、静岡放送、中日新聞、NHK
愛知県	なし	1. 市民公開講座 一般向けシンポジウムを以下の要領で行った。 「難聴・耳鳴・めまいと日常生活-突発性難聴とメニエール病を中心に-」 日時：平成22年2月26日(金) 13：30～15：30 場所：栄ガスビル 5階大会議室 講演内容： 市民を対象に無料で、突発性難聴とメニエール病についての公開講座を行った。 司会： 中島 務（名古屋大学） 講師：1. 中島 務（名古屋大学） 2. 將積日出夫（富山大学） 3. 寺西 正明（名古屋大学） 参加者：130名 2. 愛知県医師会健康教育講座を以下の要領で行った。 「めまいは動いて治そう～めまいの原因とその治療～」 日時：平成22年3月16日(火) 場所：愛知県医師会館 9階大講堂 講演内容： 一般対象に、「耳の日」にちなんでめまいの一般論、特に耳性めまいの説明とその対処方法について講演を行った。 司会：鈴木智雄（カグヤマ耳鼻咽喉科） 講師：渡邊暢浩（名古屋市立大学） 参加者：321名	1. 平成22年1月12日(火) 中日新聞に曾根三千彦医師のコメントが掲載され、ヘッドホン難聴について解説し、「耳の日」の啓発を行った。 2. 平成22年2月17日(水) 中日新聞に左記講演会（市民公開講座）の案内を掲載した。 3. 平成22年2月25日(金) 放送のテレビ愛知・健康教育番組『健康ワンダフル』に、はしば耳鼻咽喉科・内科クリニックの羽柴基之医師が出演し、番組中、「耳の日」について紹介した。 4. 平成22年3月3日(水) 「耳の日」の啓発としてZ I P - F Mに曾根三千彦医師が出演し、ヘッドホン難聴について解説をした。 5. 愛知県耳鼻咽喉科医会が作成、発行する市民向け健康教育リーフレット「みみ、はな、のどの病気ー補聴器ー」の原案作成に協力し、監修を行った。地方部会会員より一般市民へ配布し、「耳の日」に関連して補聴器の普及のための啓発活動を行った。 6. 平成22年1月9日(土) 名声会新年会において中島 務部会長が「耳の日」の啓発の発言をした。

<p>三重県</p>	<p>右記講演会と併せて無料相談会を行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日（日）12:00～13:00 場所：松阪商工会議所 3階 第一研修室</p>	<p>講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日（日）11:00～12:00 場所：松阪商工会議所 3階 第一研修室</p> <p>内容：「めまいと聴こえの話」 講師：竹内 万彦</p>	<p>松阪市の広報に載せていただいた。</p>
<p>滋賀県</p>	<p>「耳の日」無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日（日） 9:30受付開始、10:00～15:00 場所：滋賀県甲賀市水口町・ 水口社会福祉センター</p> <p>内容： 1. 耳鼻咽喉科医師2名による検診、助言、指導 2. 聴能技師による聴力検査、補聴器適合検査および装用指導 3. 補聴器の簡単な修理、点検、聴能機器の展示</p>	<p>なし</p>	<p>なし</p>
<p>京都府</p>	<p>1. 耳と補聴器の相談会 日時：平成22年3月4日（木） 場所：京都市身体障害者 リハビリテーションセンター 相談者：14名 内容： 1) 耳鼻咽喉科医師による医療相談 2) 言語聴覚士による聴力検査 3) 認定補聴器技能者による補聴器に関する相談</p> <p>2. 耳の相談会 日時：平成22年3月7日（日） 場所：京都産業会館シルクホール 相談者：32名 内容：耳鼻咽喉科医師による耳に関する相談</p> <p>3. 耳の相談会 日時：平成22年3月11日（木） 場所：京都ライトハウス 相談者：52名 内容：耳鼻咽喉科医師による耳に関する相談</p>	<p>耳の日記念 公開講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日（日） 場所：京都産業会館シルクホール 参加者：210名 主題：「聞こえを大切に」 講演1. 「聞こえの仕組みと難聴・耳鳴について」 伊藤壽一（京都大学）</p> <p>講演2. 「より良い聞こえのために －補聴器の上手な選び方－」 坂口博史（京都府立医科大学）</p>	<p>京都市民しんぶん・京都新聞・京都放送（ラジオ）にて広報。</p>
<p>大阪府</p>	<p>1. 「第46回耳の日特別相談会」を平成22年2月21日（日）に、大阪市立大学と東神実業の共催で行った。相談者は191名であった。</p> <p>2. 「第17回補聴器無料相談会」を平成22年2月28日（日）に、大阪府耳鼻咽喉科医会の主催で行った。相談者は47名であった。</p>	<p>平成22年2月28日（日）、毎日新聞オーバルホールにて第14回耳の日セミナー「耳の健康を考える」を行った。主催は大阪府耳鼻咽喉科医会で、(社)大阪府耳鼻咽喉科医会副会長・樺原茂之先生、関西医科大学附属滝井病院耳鼻咽喉科病院教授・北尻雅則先生、大阪大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授・猪原秀典先生が講演した。受講者は450名であった。</p>	<p>1. 毎日放送ラジオ「ドクターM」にて放送、2月6日、20日に(社)大阪府耳鼻咽喉科医会理事・坂本平守医師が講演した。 ・2月6日：「急性中耳炎について」 ・2月20日：「外耳道炎について」</p> <p>2. NHKラジオ「関西ラジオワイド・季節の健康」にて放送、3月3日に大手前病院耳鼻咽喉科部長・宇野敦彦医師、3月31日に大手前病院耳鼻咽喉科医員・西村 洋医師が講演した。 ・3月3日：「耳からくるめまい・脳からくるめまい」 ・3月31日：「慢性中耳炎の治療」</p> <p>3. 3月3日の大阪日日新聞朝刊に『耳の日』特集記事を掲載した。(社)大阪府耳鼻咽喉科医会会長・浅井英世医師が「耳の日に寄せて」、大阪労災病院耳鼻咽喉科部長・奥村新一医師が「騒音性難聴」、大阪大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師・北原 紘医師が「目まい」、大阪市立大学耳鼻咽喉科講師・高山雅裕医師が「真珠腫性中耳炎」、近畿大学医学部耳鼻咽喉科講師・寺尾恭一医師が「耳介奇形」の各々のテーマで寄稿した。</p>

<p>兵庫県</p>	<p>耳の日無料相談会を以下の要領で行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>神戸大学 日時：平成22年3月1日（月）15:00～16:00 場所：耳鼻科外来 相談者：2名</li> <li>兵庫医科大学 日時：平成22年3月6日（土）9:00～10:30 場所：耳鼻科外来 相談者：2名</li> <li>神戸市立医療センター中央市民病院 日時：平成22年3月2日（火）9:00～11:45 場所：耳鼻科外来 相談者：3名</li> </ol> <p>&lt;阪神地区&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>川西市 「聞こえの相談」 日時：平成22年3月6日（土）14:00～16:00 場所：川西市保健センター 参加者：18名</li> <li>宝塚市 「耳の日の集いと相談会」 日時：平成22年3月7日（日）10:00～16:00 場所：宝塚市総合福祉センター 参加者：15名</li> </ol>	<p>&lt;神戸地区&gt;</p> <p>「耳の日講演会」 日時：平成22年3月6日（土）14:00～16:30 場所：神戸市勤労会館 内容： 1. 『聴こえのしくみと耳の病気』 長谷川信吾（神戸大学） 2. 『めまいについて』 雲井一夫（神戸赤十字病院） 参加者：79名</p> <p>&lt;播州地区&gt;</p> <p>「耳の日の集い」 日時：平成22年3月4日（木）14:00～16:00 場所：高砂市医師会館 内容：『耳のおはなし』 阪本浩一（県立加古川病院） 参加者：44名（補聴器相談：9名）</p>	<p>神戸新聞紙上座談会 2月27日紙面掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐伯忠彦（新日鐵広畑病院）</li> <li>・大津雅秀（県立こども病院）</li> <li>・紀平晋也（明石市）</li> </ul> <p>&lt;阪神地区&gt;</p> <p>ケーブルテレビ放送： 3月1日（月）～7日（日） 『めまいの診断と治療』 塩見洋作（西宮市）</p>
<p>奈良県</p>	<p>無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月4日（木） 場所：奈良県医師会館（橿原市） 主催：日耳鼻奈良県地方部会、 奈良県耳鼻咽喉科医会、 奈良県医師会耳鼻咽喉科部会三部会 協力者：日耳鼻奈良県地方部会会員3名、言語聴覚士2名および全国補聴器販売店協会奈良県支部の補聴器説明員数名、奈良市要約筆記サークル、奈良県医師会職員 状況：無料相談、聴力検査と耳の病気の個人相談や補聴器装用に関する指導などを行った。 参加者：約60名</p>	<p>講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月4日（木） 場所：奈良県医師会館（橿原市） 主催：日耳鼻奈良県地方部会、 奈良県耳鼻咽喉科医会、 奈良県医師会耳鼻咽喉科部会三部会 講演：「難聴と補聴器」 細井裕司 （奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室教授）</p>	<p>奈良県の市町村広報紙に講演会の予告が掲載された。</p>
<p>和歌山県</p>	<p>無料相談を各病院（8施設）で実施した。相談者は10名であった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>和歌山県立医科大学附属病院耳鼻咽喉科 （平成22年3月3日（水）14:00～15:00）</li> <li>日赤和歌山医療センター耳鼻咽喉科 （平成22年3月3日（水）15:00～16:00）</li> <li>和歌山労災病院耳鼻咽喉科 （平成22年3月3日（水）15:00～16:00）</li> <li>済生会有田病院耳鼻咽喉科 （平成22年3月2日（火）14:00～16:00）</li> <li>国保日高総合病院耳鼻咽喉科 （平成22年3月5日（金）14:00～15:00）</li> <li>社保紀南病院耳鼻咽喉科 （平成22年3月5日（金）13:30～14:30）</li> <li>公立那賀病院耳鼻咽喉科 （平成22年3月3日（水）14:00～15:00）</li> <li>ビッグ愛3F （平成22年3月2日（火）15:00～16:00）</li> </ol>	<p>なし</p>	<p>県広報室より、新聞社・放送局・情報誌等に資料を配付していただき、数社に無料相談実施日を掲載していただいた。</p>
<p>鳥取県</p>	<p>なし</p>	<p>講演を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月18日（木） 場所：江府町総合健康福祉センター 内容：「耳の聴こえと難聴」 参加者：50～60名</p>	<p>朝日新聞（平成22年3月3日）に掲載 「耳鳴りについて」</p>
<p>島根県</p>	<p>平成22年3月6日（土）「耳の日」講演会終了後、無料相談会を実施した。</p>	<p>平成22年3月6日（土）「聞こえのしくみと耳の病気」をテーマに、浜田市で講演会を実施した。</p>	<p>平成22年2月7日「硬性耳用内視鏡を併用した鼓室形成術」についての記事が讀賣新聞地方版に掲載された。</p>

岡山県	平成22年3月7日（土）岡山衛生会館にて「耳の病気相談」を実施。5名の耳鼻咽喉科医が11名の相談に応じた。相談内容としては、人工内耳について5件、補聴器について3件、耳鳴りについて2件、副鼻腔炎について1件であった。	平成22年3月7日（日）岡山衛生会館にて「平成22年耳の日の集い」を開催し、同志社大学赤ちゃん学研究センター小西行郎教授の講演「命のかがやき～赤ちゃんからのメッセージ～」と聴こえないマジシャンマジック・トシマ オンステージがあり約150人の参加者があった。	NHK岡山放送局、OHK岡山放送局、RSK山陽放送局、山陽新聞社、産経新聞社岡山支店の協力があつた。
広島県	第17回難聴・補聴器よろず相談会を下記の要領で行った。  主催団体名： 日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会、 広島県耳鼻咽喉科医会  日時：平成22年3月7日（日） 場所：尾道市役所瀬戸田支所 受付時間：10：00～12：00 主催：日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会 広島県耳鼻咽喉科医会 後援：広島県、尾道市 協力：広島県身体障害者更生相談所 入場者数：23名 その他参考となる事項： 参加医師6名、参加言語聴覚士1名	なし	中国、朝日各新聞社に広報依頼
山口県	なし	1. 平成22年2月6日（土）14：00～スターピアくだまつ（下松市）で、「耳の日」市民健康公開講座を開催した。 1) 「スギ花粉症について」 田村光司（たむら耳鼻咽喉科） 2) 「めまい治療の最前線」 池田卓生（鼓ヶ浦こども医療福祉センター）  2. 平成22年3月14日（日）10：00～12：00ニューメディアプラザ山口（山口市）で、「耳の日」市民公開講座を開催した。  総合司会：山下裕司教授（山口大） 「知っておきたい鼻の病気と鼻づまり」 山下裕司教授（山口大） 1) 「鼻づまりが大人と子どもの睡眠に及ぼす影響」 原 浩貴（山口大） 2) 「鼻の病気と中耳炎の関係について」 下郡博明（山口大） 3) 「鼻の病気 最新の手術治療のご紹介」 橋本 誠（山口大） 4) 会場からの質疑応答  3. 平成22年2月20日（土）9：40～12：00山城南総合支援学校（山口市）で、聴覚障害児の子育てについての講演会を行った。	「耳の日」の広報が地方紙（宇部日報）に掲載された。
徳島県	なし	平成22年2月28日（日）徳島大学・武田憲昭教授による「高度難聴と人工内耳」の講演を行った。	なし
香川県	記念講演会終了後に補聴器相談を行った。	平成22年3月7日（日）に東かがわ市にて耳の日記念講演会を開催した。 講演： 1. 「難聴のはなし」 2. 「補聴器の上手な買い方・使い方」	新聞、地方自治体広報誌に耳の日記念講演会開催の案内が掲載された。
愛媛県	平成22年2月28日（日）に新居浜市身障福祉センターにおいて、難聴医療補聴器相談会を実施した。	平成22年3月7日（日）13：00～15：50まで、愛媛大学グリーンホールにおいて、「第22回愛媛ヒアリング研究会」を実施した。 「生活環境下における雑音抑制機能について」や「愛媛県身体障害者福祉センターにおける難聴患者の推移」などの講演があつた。	毎日新聞の「えひめ健康ナビ」欄に羽藤直人医師の「新しい骨導人工中耳を開発中」が掲載された。

高知県	なし	<p>地域と大学を結ぶ会を下記の要領で行った。</p> <p>会期：平成22年2月12日（金）  会場：岡豊ふれあい館  講演：「聞こえの障害と補聴器の上手な使い方」  講師：小林泰輔  （高知大学医学部耳鼻咽喉科 講師）</p>	高知新聞に中耳炎に関する記事を掲載。
福岡県	<p>1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会（五孔会）主催で第22回「耳の日」イベントを平成22年3月7日（日）、アクロス福岡において開催し、今年も来場者が1000名近く訪れた。コーナー企画としては、昨年同様、睡眠時無呼吸症候群、内視鏡による鼓膜供覧、補聴器の相談、ティンパノメトリー、聴力検査、花粉症相談、人工内耳、薬剤師による薬の相談、中途失聴難聴者福祉協会による相談、耳鼻科専門医による無料健康相談、子供の聞こえとことばの相談、講演などを行った。今年より、福岡県言語聴覚士会が後援団体として参加され「大人のこぼと嚥下障がい相談」のコーナーが追加された。各コーナーは今年も昨年以上回る相談者の方が訪れ、盛会となった。また、福岡県地方部会は後援として参加した。</p> <p>2. 北九州市耳鼻咽喉科専門医会では、平成22年3月14日（日）に東部障害者福祉会館「ウェル戸畑」において北九州市難聴者・中途失聴者協会と共催で「平成22年度 難聴者耳の日記念市民集会」を開催し、約70名の方が来場された。昨年同様、記念講演と難聴者による体験談や耳鼻科専門医による難聴相談などを行った。</p>	<p>1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会の主催で、第22回「耳の日」講演会を平成22年3月7日（日）にアクロス福岡で開催した。講演は3題で、NPO花粉情報協会より佐橋紀男先生には「スギ・ヒノキ科花粉の飛散動態～遠距離飛散、都市部と山間部の比較～」と題し、花粉の動態についてわかりやすく、平川直也先生には「何とかしたい！耳鳴りのはなし」を、福岡市薬剤師会の田崎恵玲奈先生には「食べて効くクスリ～体質別ベビーからシニアに合う食べ物のヒントと薬局活用術～」と題し、役立つ内容について詳しくご講演いただいた。当日は、およそ90名の方にご来場いただいた。また、円形ホールのアトラクションは、古田厚子様を招き、五孔会会長福興和正先生とのトークショーを行った。</p> <p>2. 北九州市耳鼻咽喉科専門医会では、平成22年3月14日（日）に、「難聴を理解するために」と題し、是永克実先生による記念講演と、また北九州市難聴者・中途失聴者協会より、難聴者の体験談の講演があり、来場者は50名程の方が訪れた。</p>	<p>1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会では、3月1日西日本新聞の健康欄、2月25日または3月4日朝日新聞のふくおか情報、福岡市のホームページ・市政だより、春日市の市政だより、糸島市、粕屋町の広報誌、アクロス福岡情報誌に案内文を掲載した。その他、公民館、薬剤師会、補聴器販売店、中途失聴者難聴者協会を通して、パンフレット配布し、またポスター掲示を行った。その他、福岡市市役所の情報プラザ、アクロス福岡の文化観光情報ひろば・福岡市の市民福祉プラザ・健康づくりセンター・総合図書館にパンフレットを配布した。</p> <p>2. 北九州市耳鼻咽喉科専門医会では、北九州市市政だより、福祉施設・耳鼻咽喉科医院・認定補聴器専門店などに案内文を掲載した。</p>
佐賀県	<p>無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月27日（土）14:00～16:00  場所：佐賀市立図書館2階多目的ホール  内容：  佐賀大学耳鼻咽喉科医師による問診・診察・相談、場合に応じ聴力検査、補聴器相談  相談者数：50名</p>	<p>無料相談会終了後、講演会を行った。</p> <p>「役に立つ耳と鼻の病気の知識」  井之口 昭  （佐賀大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授）</p>	<p>1. 平成21年3月20日付《西日本新聞》佐賀版朝刊に「耳の日」無料相談会の広告を掲載。</p> <p>2. 佐賀市が発行する《市報さが》（平成22年3月15日号）ならびに、佐賀の生活情報誌《月刊ぷらざ》3月号へ相談会の広告を掲載。</p>
長崎県	<p>補聴器および人工内耳の供覧・相談を無料で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日（日）  場所：アルカスSASEBO</p>	<p>講演会を下記の要領で行った。</p> <p>日時：平成22年3月7日（日）  場所：アルカスSASEBO</p> <p>講演</p> <p>1. 「めまいについて&lt;その1&gt;  めまいについて ～一般的な話～  奥 竜太（佐世保市立総合病院）</p> <p>2. 「めまいについて&lt;その2&gt;  からだをぐるぐる回すとめまいがするのはどうして？～三半規管からおこるめまいのはなし～  中島成人（長崎労災病院）</p> <p>3. 「最近の補聴器・人工内耳のはなし」  神田幸彦（神田耳鼻咽喉科）</p> <p>その他：聴導犬の紹介  萩原美奈津氏（聴導犬育成協会）</p>	<p>1. 佐世保市の広報誌「広報させぼ」、コミュニティ誌、長崎新聞県北版、地元ケーブルテレビ局「テレビ佐世保」にて告知、取材報道を行った。</p> <p>2. 長崎新聞全県版に耳鼻咽喉科疾患についての執筆及び「耳の日公開講座&amp;相談会」の告知を行った。</p>

熊本県	なし	一般向けの講演会を以下の要領で行った。 日時：平成22年3月6日（土） 場所：大津町町民交流施設オークスプラザ 内容：「人工内耳について」 人工内耳装用者の体験発表 質疑応答 講師：蓑田涼生 （熊本大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 共催：日本耳鼻咽喉科学会熊本県地方部会 熊本県難聴者中途失聴者協会 参加者：約80名	テレビ熊本朝日放送 ラジオ：NHK 新聞での広告掲載：朝日新聞
大分県	平成22年3月7日（日）、10:00～13:00までトキハ会館（大分市）において第10回耳の日無料相談会を開催した。48名の相談者があった。	なし	なし
宮崎県	2010年度は3月7日（日）の13:00から16:00まで「耳の日」の無料市民講演会と相談会を実施した。7つのブースを作り日耳鼻専門医の医師18名で対応した。実施日当日は天候が寒さと雨で悪く、来場者は昨年より減少した。来場者へのアンケートは好評な意見を多数いただいた。相談件数としては半数以上は耳の難聴の相談が多かった。	2010年度は3月7日（日）に市民向けの無料講演会と「耳の日」の無料相談会を実施した。当日は4題の講演を一般来場者向けに実施した。医会の先生から「めまい・耳鳴り・うつは良くなる」、「アロマセラピーのすすめ」、「手術で治る急性難聴とめまい」、というタイトルで大学からは「声の話」というタイトルで各題30分の講演を行った。来場者アンケートでも講演会を目的に来場された方も多く熱心にメモをとって聴講される方も多く概ね好評であった。	県内の主要マスコミ（テレビNHK・新聞社宮崎日日新聞、読売新聞など）にパンフレット配布と報道部へのPR依頼を行った。テレビについてはローカル枠の情報番組内で取り上げてもらい、新聞に関しては新聞広告によるPRと地域面のイベント予告で取り上げてもらった。
鹿児島県	なし	第3回耳の日ならびにアレルギー週間公開講座を以下の要領で開催した。  日時：平成22年2月28日（日）13:30～14:30  第I部一耳の健康を考えるー 1. 耳のしくみと難聴・補聴器 2. やさしいめまいと耳鳴りの話  第II部一睡眠時無呼吸症候群と花粉症ー 1. 鼻づまりと睡眠時無呼吸症候群 2. アレルギー性鼻炎の最新治療と今からできる花粉症対策  上記講演を行った。	南日本新聞 告知版に掲載。
沖縄県	平成22年3月7日（日）、「那覇市ぶんかテンプス館」において市民公開講座耳の日講演会を行った。講演会に併設する形で耳の日無料相談を実施した。相談者数は15人であった。	平成22年3月7日（日）、「那覇市ぶんかテンプス館」にて市民公開講座耳の日講演会を開催した。講演内容は①耳からくるめまい、②たかが中耳炎、されど中耳炎、③補聴器と人工内耳、④人工内耳で取り戻したものの四講演を行うとともに講演②と講演③の間に人工内耳装用者によるマリンバ演奏を行った。参加者は112人であった。	1. 平成22年3月2日、琉球放送（RBC iラジオ）において耳の日についてのインタビューと市民公開講座耳の日講演会についての報道協力を得た。 2. 沖縄タイムス、琉球新報にて市民公開講座耳の日講演会の報道協力を得た。